



平成 31年 4月 8日

報道各位

花山宇宙文化財団設立についての記者発表のご案内

平素は京都大学理学研究科附属天文台の研究成果発信やイベントの告知に関して、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて私どもの花山天文台は、1929年の開設以来、太陽系・太陽の観測で世界的な活躍をするとともに、「アマチュア天文学の聖地」として多くの市民や子供たちに親しまれてきました。昨年、後継の岡山天文台(せいめい望遠鏡)が開設したことにより、当初の天体観測研究所としての使命を終え、運営費(人件費~1000万円/年)をすべて岡山天文台に移すことになり、閉鎖の危機を迎えておりましたが、このたび、

株式会社タダノ(多田野宏一社長)様

のご厚意により、花山天文台の歴史的施設を残し、教育普及活動に活用するために、

毎年1000万円 x 10年間

のご支援をいただけることになりました。これにより、今後10年間の花山天文台の存続・活用の目的がたちましたので、花山天文台を支援する外郭団体として

一般財団法人 花山宇宙文化財団(尾池和夫理事長)

を本年4月1日に設立しました。

つきましては、この明るいニュースを多くの市民の皆様にお伝えするために、記者発表を開きますので、多数、ご参集いただければ幸いです。

記

日時 2019年4月17日(水) 14時から1時間程度

場所 京都大学時計台記者クラブ

発表者 柴田一成(京都大学理学研究科附属天文台教授、花山宇宙文化財団理事)

尾池和夫(京都造形芸術大学学長、京都大学元総長、花山宇宙文化財団理事長)

多田野宏一(株式会社タダノ 代表取締役社長、花山宇宙文化財団評議員)

※報道掲載は4月17日(水)の記者会見終了以降でお願い致します。

この取材に関するお問合せ

京大理学研究科花山天文台教授 柴田一成

shibata@kwasan.kyoto-u.ac.jp

Tel 090-7092-6126

(天文台分室 075-753-3893)

(別紙:参考資料)

(1) 経緯

株式会社タダノは花山天文台の窮状を知り、創業 100 周年の社会貢献事業の一環として、ぜひ花山天文台を支援したいとの申し出をされた。くしくも今年には花山天文台創立 90 周年という節目の年にもあたり、向こう 10 年間の支援をすると花山天文台が 2029 年に 100 周年を迎えることになる。種々の相談の結果、

1000 万円/年 × 10 年

を花山天文台のために支援して下さることが、株式会社タダノの役員会で正式に了承された(2018 年 12 月)。

なお、株式会社タダノは香川県高松市に本社を置く建設機械メーカーで、建設用クレーン、車両搭載型クレーン及び高所作業車を製造し、国内外へ販売するグローバル企業である。2018 年 3 月に京大(工学研究科など)と、ICTを建設用クレーンなどに活用することで、建設生産システム全体の安全・生産性向上に貢献する取り組みについて、包括連携共同研究契約を結んでいる(別紙—京大広報からの抜粋—参照)

(2) 今後の予定

6 月 2 日(日)午後に、花山宇宙文化財団発足記念兼花山天文台創立 90 周年記念式典・祝賀会、記念講演会(市民向けにオープン)を、京大イノベーション棟ホールで開催予定。

(3) 花山宇宙文化財団設立趣意書(別紙)

(4) 花山宇宙文化財団 設立時役員等

(設立時評議員)

稲盛豊実 (公益財団法人稲盛財団専務理事)

佐藤文隆 (京大名誉教授)

多田野宏一 (株式会社タダノ代表取締役社長)

長田哲也 (京大教授)

藤原洋 (株式会社ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長 CEO)

松本紘 (国立研究開発法人理化学研究所理事長、公益財団法人国際高等研究所所長、京大前総長)

村山昇作 (一般社団法人 天体望遠鏡博物館 代表理事)

冷泉為人 (財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長、京都美術工芸大学学長)

(設立時理事)

尾池和夫 (京都造形芸術大学学長、京大元総長)

西亨 ((株)阪南コーポレーション 執行役員 副社長)

位高光司 ((株)KI 経営研究所代表取締役、京都経営者協会元会長、元日新電機株式会社社長)

岡村勝 ((株)ヒーロー代表取締役)

荻野司 (合同会社ゼロワン研究所代表、京大特任教授)

北川聡一 ((株)文化工学研究所専務取締役、京大非常勤講師)

柴田一成 (京大教授)

野上大作 (京大准教授)

松田和典 (M・G マーケティング研究所所長)

(設立時代表理事(理事長)) 尾池和夫

(設立時業務執行理事(常務理事)) 西亨

(設立時監事) 平井伸博 吉田晴夫